A

気分・最高!ときめきタウンけたか!!

効果

浜村温泉街の復活

浜村温泉の活性化(悲願)

観光客が増える(海の温泉を求めて)

多世代が集まれる?交流のまちづくり

多世代交流

特色あるエリアとしてアピール

住民や地域外の人が交流できる場のきっかけの場へ

健康・長寿のまちづくり

健康増進に興味がわく

健康増進

学校×健康増進で健康,元気なまちアピール

新統合小学校との連携による世代間交流の活性化

飲食できるとゆっくりすごせる

駐車場不足解消による地域活性化イベントのやりやすさ向上

利用者増により施設整備が充実する

統合小学校のイベント時の(運動会,発表会等)駐車場問題の解消

サービスが充実する

利用年齢層の幅が広がる

観光客が増える

子どもたちの遊べる場,集える場が増える

にぎわい創出

若者が集まってくるかも?

イベントの回数が増える

イベントが増える活性化

若者が集まるまちづくり

実現に必要なこと

学校の先生の理解,協力

線路や川などを挟むことでの安全面での距離感の解消

子どもたちがこんな町に住みたいとこんな町にしたいか聞いてみる

施設や場所ごとの機能のわかりやすさ

コミュニティバスを運行する

民間誘致(構想の発信)

コミュニティセンター敷地に多目的公園をつくる

助成事業の創成

市の土地を安く譲渡

まず公園として整備しておく

健診にこられた方に保健センターの利用券を配布する

共用無料駐車場の整備

実現アイデア

保健センター複合化による機能強化

営業時間の問題(複合化に伴う)

浜村小移設による学童の受入,プール,気高保健センターと複合する

浜村地区公民館とセットで貝がら節の館増設

高齢者ばかりが集まるような施設にしない

防災拠点と健康増進施設を合わせて

公民館老朽化のため.避難所として気高保健センターを充実させる

気高保健センター,支援センターをプラスする.子育て世代のサポート,子どもたちの居場所をつくる

高齢者,幼児,小中学生との交流の場.保育所,小学校,デイケアセンターを作る

保健センター+温泉+健康づくりを融合したウェルネス拠点へ

学校の学習においてのプールの活用

世代間交流ができるようにする.図書館勉強場所等がつながるように

保健センターとコミセンの複合化でやや手狭に

複合化に合わせて日帰り温泉施設とサウナを増築

保健センタープール老朽化→温泉をつけるとなるとすべてリニューアルが必要

保健センターと公民館の複合では基本的に使用目的が違うと考える.公民館をもっと使用目的に近い施設と複合を考えてはどうか

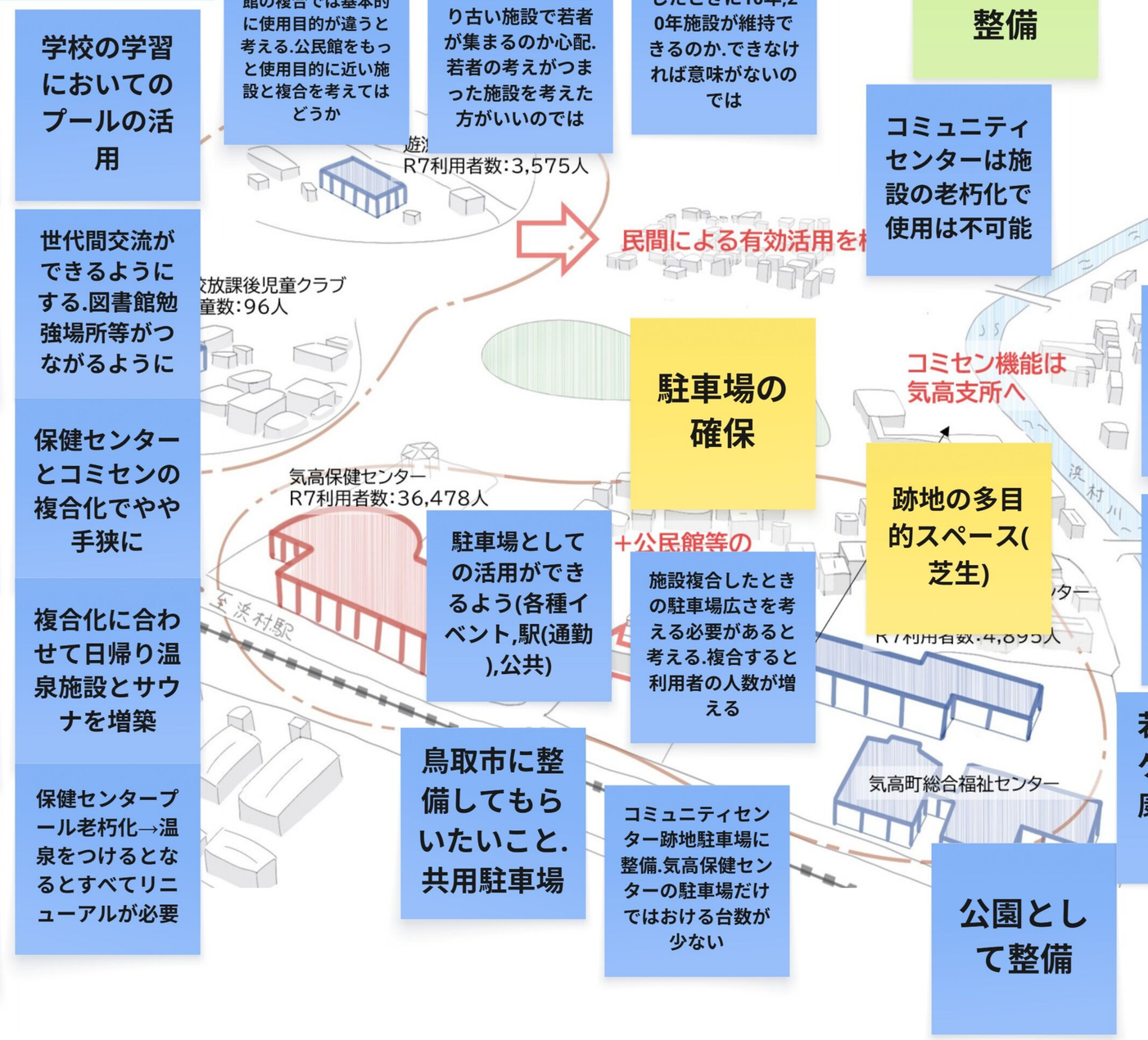
複合することにより古い施設で若者が集まるのか心配.若者の考えがつまった施設を考えた方がいいのでは

現状施設が老朽化したときに10年,20年施設が維持できるのか.できなければ意味がないのでは

コミュニティセンターは施設の老朽化で使用は不可能

温泉(公共)は必要.コミュニティセンター跡地に作る

浜村温泉街の活性化.古民家リノベーション,温泉施設,軽食ができる場所をつくる



健康増進・交流エリアとして一体的に整備!

スケートボード場の設置,屋外イベント会場,駐車場

気分最高!ときめきタウンエリア(にぎわい創出)

<民間誘致>イートインスペースの広いコンビニ,ボード専門店,カラオケ店

若者をターゲットに健康的なにぎわい創出

行列のできるラーメン店,うどん店,キッチンカー,フリーマーケット

となりあった敷地(解体後のもの)やヤサホーパーク等の活用で若者,子どもの居場所づくり

移転後の跡地活用を若者がときめくものにしたい!

地域住民や団体ができること

各種団体の活用

地域住民の協力が必要.受け入れ,来てほしいという気持ちがいる

B

西地域の拠点「交流の輪」浜村

効果

若い世代,子育て世代への魅力化.拠点化

それぞれの強み,弱みをカバーできる.目標は人口対策,若い人への魅力

人が集まりやすい,交通面(車,JR,徒歩)でとても便利

(買取)公共敷地,ゾーニング,自治会リーダー

ランニングコスト(コスト面)が下がる,人材育成につながる,ワンストップ化

住民サービスの向上,住民の利便性が高まる,様々な機能それぞれがつながり高まる

公共施設,道の駅,病院,スーパー,コンビニ,図書館等に居場所として利用できる

赤ちゃんから高齢の方が楽しく集える拠点となる

西地区の生活の充実と活性化,住民のわくわく感が広がる,生活に華がある夢を描ける,交流の輪

実現に必要なこと

様々な団体の複合化(共創),RMO化

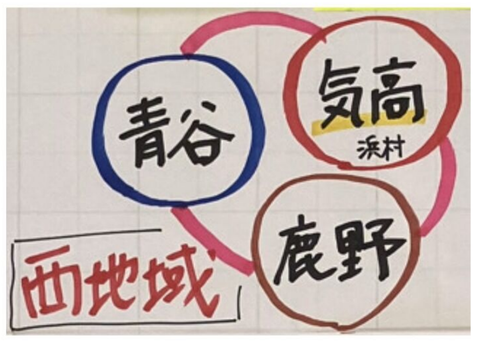
共助交通の充実(公共交通,ライドシェア等)

若い世代が住みたいまちづくり(空き家拠点活用)

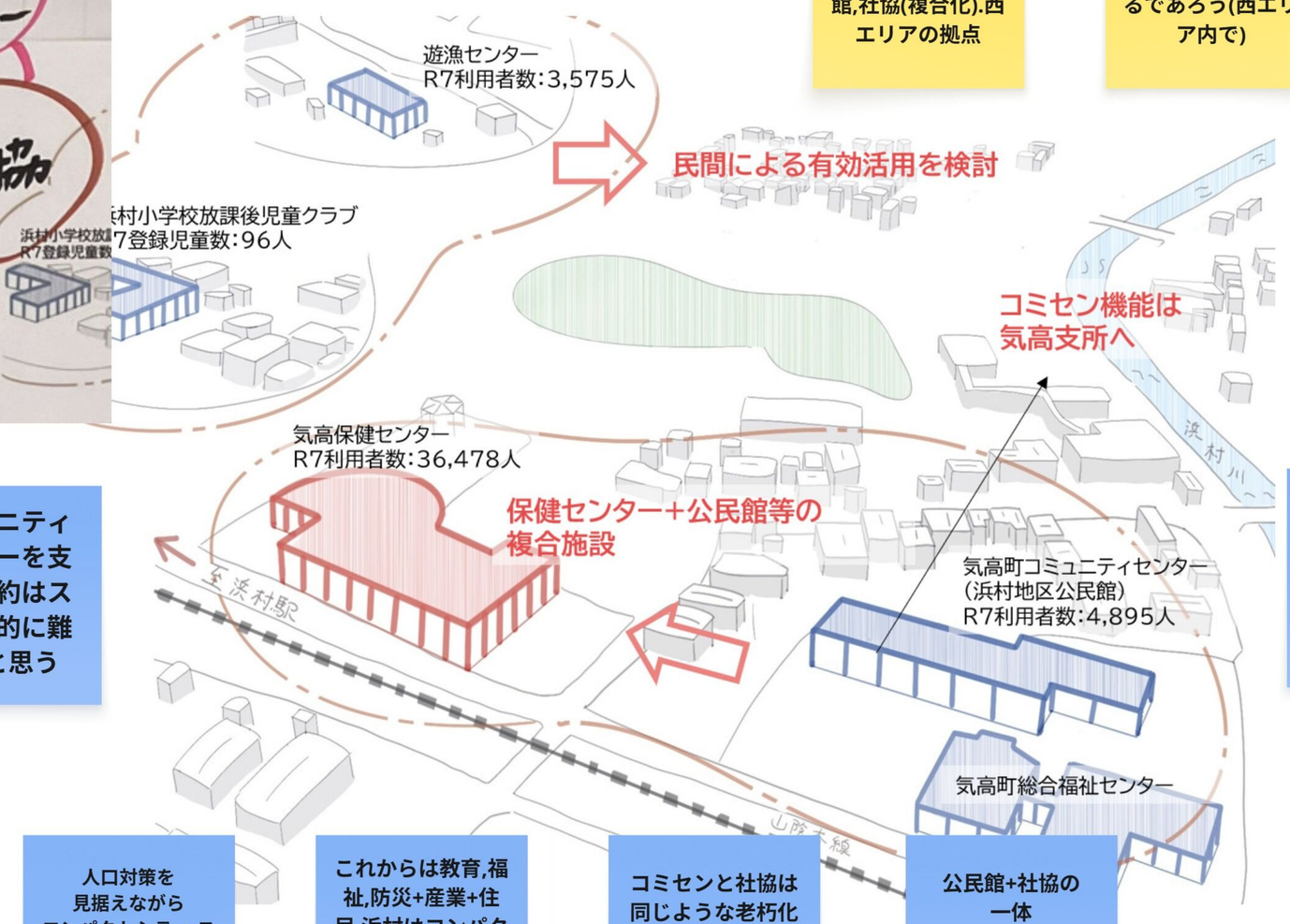
高校生の通学方法(JR利用,通学バス他)

全施設の駐車場の確保

実現アイデア







コミュニティセンター,地区公民館,保健センター,図書館,社協(複合化).西エリアの拠点

間違いなく気高町は今後発展しリーダー的な役割となるであろう(西エリア内で)

人口減の中,浜村地区は西地域の拠点(先を見据えて公民館の独立(ハード))

温泉の将来図

今利用している施設(コミセン)の機能,場所は変えないでほしい

コミュニティセンターを支所に集約はスペース的に難しいと思う

地域活性化の拠点(公民館)

複合施設,気高保健センタースペースが確保できるか

人口対策を見据えながらコンパクトシティ,スマートシュリンク.ただ編むだけではなく活性化も必要

これからは教育,福祉,防災+産業+住民,浜村はコンパクトシティとなる,ならざるをえない拠点

コミセンと社協は同じような老朽化施設.2040年,10~30年後を見据えた議論が必要

公民館+社協の一体化(教育,福祉,コミュニティコスト等)人材面,サービス

複合化の是非.図書館×

スペース,駐車場.取り組みが抑制される.蔵書.拠点

地域住民や団体ができること

助けてといえる相手がいること,人の話を聞いてあげる

AIではなく人と人との対話,コミュニケーションを大切にしていく

自治会の維持,コミュニティの維持

これからの世代の考えを可能な限り取り入れる.若者の参画

三町,地域住民で活用案を話し合う←夢のある(アンケート等をもとに)

独自の取り組みの実施.公民館活動の充実と新規事業

山,川,田畑を守る

C

Enjoy Area～住民の住民による住民のための施設～

効果

新しい出会い.友達や知り合い増.交流を深め,友情を深める

のびのびできる中高生の遊びの範囲や勉強の幅が広がる.可能性が広がる

イベントができると子どもだけじゃなく大人も楽しめると思う

民間活用の増加によって利用の幅や地域活性化につながる

フリースペースの利用が増える

中高生が集まりやすく利用しやすくなる

病院ができたらわざわざ市内とかに行かなくて済む.すぐに病院に行かないと行けない人がすぐに行ける

実現に必要なこと

管理するための人,金.リフォームや増築の手伝い,宣伝,機能の効果を最大限活用できるとこ

機能移転する元々の施設の合意

病院の人(医者,看護師,薬剤師など)が必要

児童クラブ跡地に設置してくれる病院の先生や職員を探す

利活用してくれる民間企業(団体)探し

フリースペースの所有者・管理者探し

実現アイデア

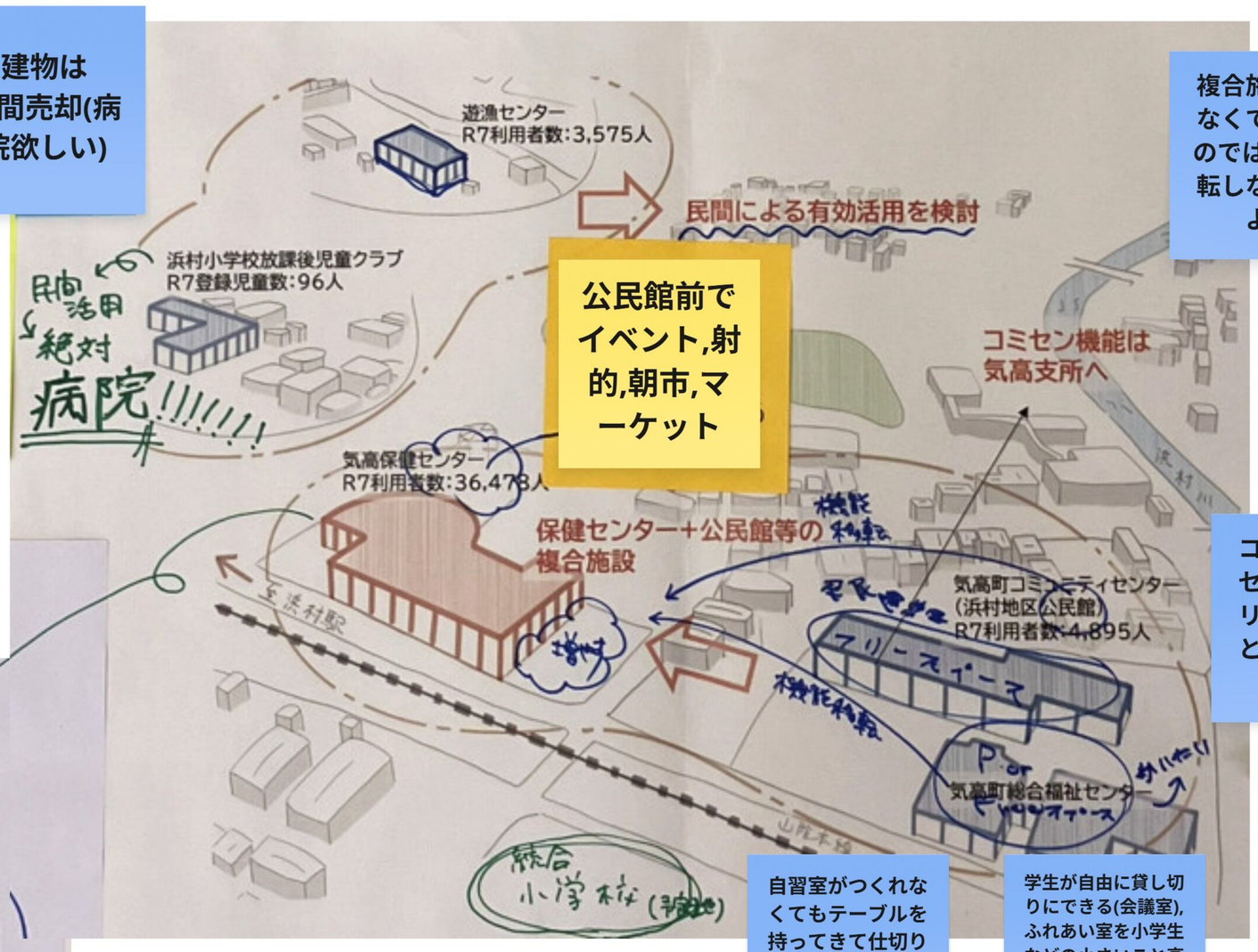
体育館→気高中の部活,小学生の遊び

体育館,雨の日ステージしか使えない→どこか使えるようにしてほしい

児童クラブ跡地

建物は民間売却(病院欲しい)

図書館並みとは言えないがある程度の参考書,本を集める



公民館前でイベント,射的,朝市,マーケット

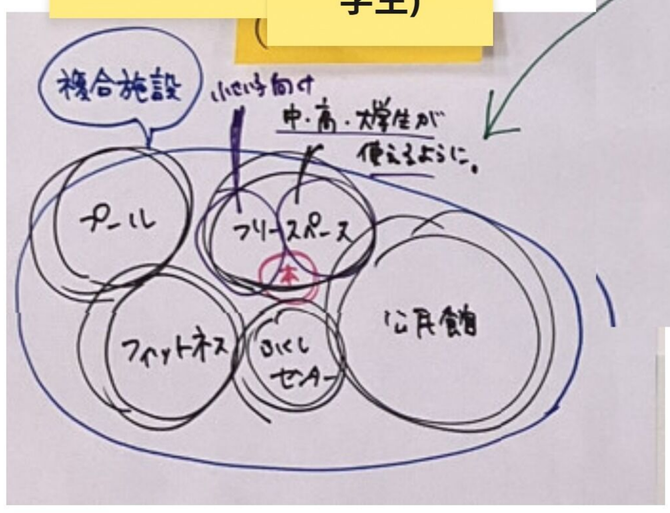
複合施設としなくてもいいのでは.機能移転しなくてもよい

コミュニティセンターや公民館の施設をもっと気軽に借りれるようにする

予約システム,仕組みつくり

子どもたちが遊べるスペースが欲しい

フリースペース,居場所(中・高・大学生)



コミュニティセンターをフリースペースとして開放する

建物残したまま使ってもいいのでは→民間に活用の方向を探る

空いたコミュニティセンターをDIY好きの人にタダで譲って市の管理から外す

自習室がつくれなくてもテーブルを持ってきて仕切りをつければ自習室のようになると思う

学生が自由に貸し切りにできる(会議室),ふれあい室を小学生などの小さいこと高齢者(または大人)の交流に使用→リフォーム必須?

みんなで集まってわちゃわちゃできる場所をつくる

地域住民や団体ができること

イベントに積極的に行くのはもちろん,できれば楽しんで終わりじゃなくボランティアも積極的に行う.

実現できたら利用回数を増やす

フリースペースでやるイベントの企画・運営を考える

D

自助・共助,皆で見守る気高町

効果

全体

耐震性に問題のある建物を利用しないので安全

体育館

移動手段を担保して移動しやすくなる

すぐに予約することができ空き時間などを把握することができる

移転後の移動に困っている人の助けになる

現地にわざわざ行って予約せずに済む

相互の見守り,コミュニケーションが取れる

健康意識の増進

人権福祉センター（児童館）

世代間の交流がしやすくなる

児童クラブ移転後も子供たちは以前と変わりなく遊べる

外にも遊び場ができて遊び方が充実する

実現に必要なこと

体育館

住民同士で送迎しあえるかどうか

小学校の統廃合に賛成できる住民を増やす(日中でもいける体育館が増える名目で)

統合後まで使用してもらえるようにしてもらう(トレーニングセンター)

インターネットの使い方をレクチャーするなり,その環境に住民が慣れる

移動状況の分析・把握(体育館)

人権福祉センター（児童館）

子どもの安全に配慮した環境づくり

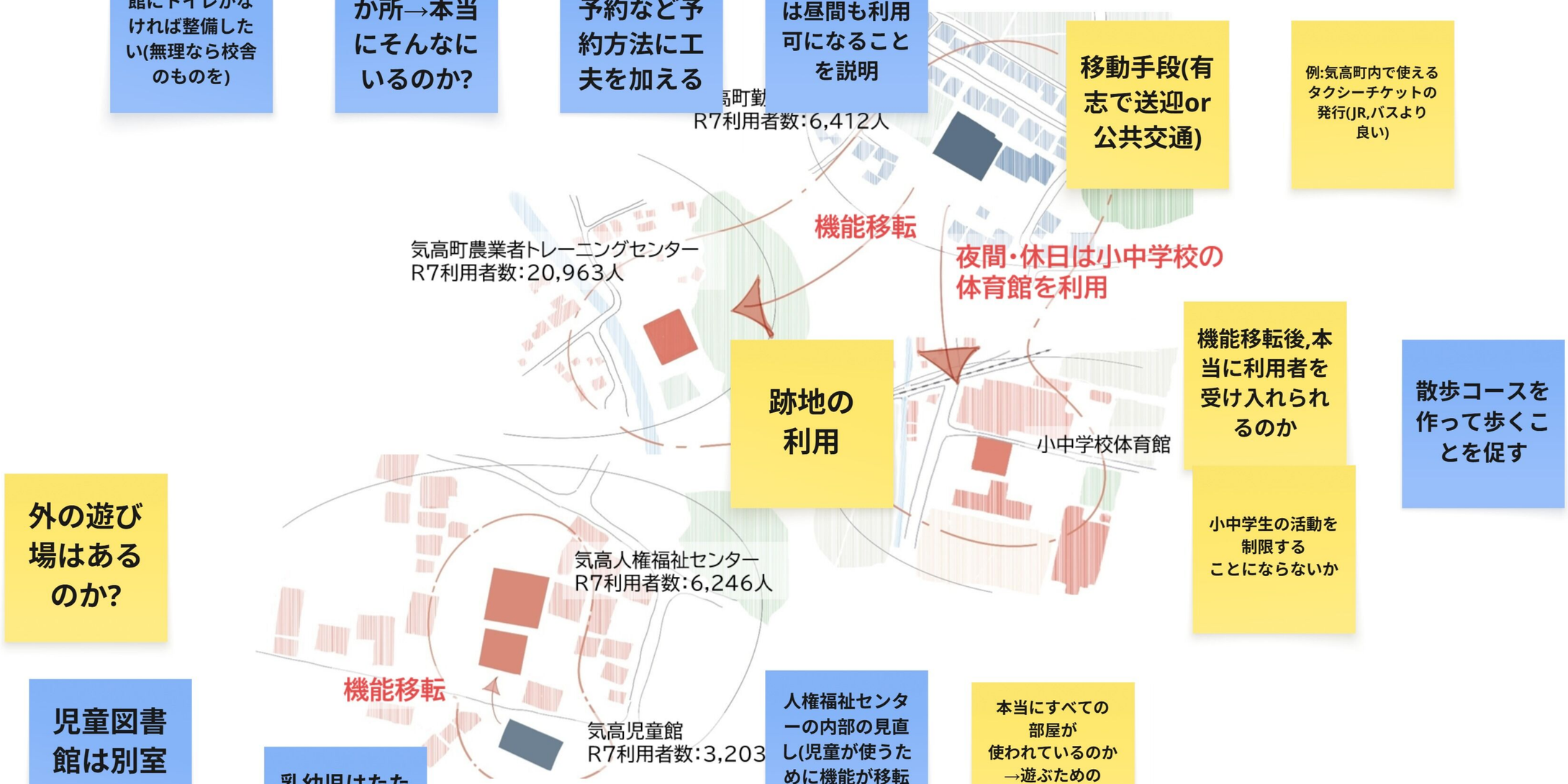
実現アイデア

旧小学校の体育館にトイレがなければ整備したい(無理なら校舎のものを)

体育館5,6か所→本当にそんなにいるのか?

オンライン予約など予約方法に工夫を加える

小学校廃止後は昼間も利用可になることを説明



移動手段(有志で送迎or公共交通)

例:気高町内で使えるタクシーチケットの発行(JR,バスより良い)

跡地の利用

機能移転後,本当に利用者を受け入れられるのか

小中学生の活動を制限することにならないか

散歩コースを作って歩くことを促す

外の遊び場はあるのか?

児童図書館は別室で

乳幼児はたたみよりフローリングの方が安全そう

人権福祉センターの内部の見直し(児童が使うために機能が移転できるか)

本当にすべての部屋が使われているのか→遊ぶための部屋を作ってみては

地域住民や団体ができること

子どもたちの見守り

積極的に取り組みに参加すること